

『シュルレアリスム宣言』100年

Surrealism

シュルレアリスム



2024.3.2 Sat. — 4.14 Sun.

First period : 3.2 Sat.-3.24 Sun. Second period : 3.26 Tue.-4.14 Sun.

と日本

The 100th
Anniversary of
“Manifeste du
surréalisme”

and

Japan

板橋区立美術館

会期 2024年3月2日(土)～4月14日(日)
 前期 3月2日(土)～3月24日(日)
 後期 3月26日(火)～4月14日(日) * 前後期で一部展示替えがございます。
 開館時間 9時30分～17時 入館は16時30分まで 休館日 2月曜日
 観覧料 一般 650円 高校・大学生 450円 小・中学生 200円
 * 土曜日のみ小中学生は無料で観覧できます。* 六十五歳以上・障がい者割引あり(要証明書)
 主催 板橋区立美術館、東京新聞
 協力 京都府京都市文化博物館、三重県立美術館
 助成 公益財団法人 ポーラ美術振興財団



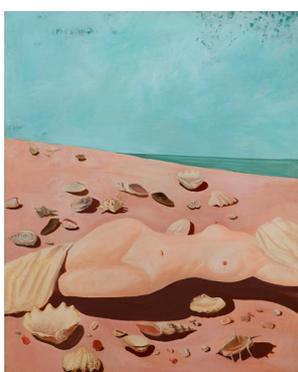
シュルレアリスム

一九二四年、アンドレ・ブルトンが「シュルレアリスム宣言」を発表して一〇〇年。フランスで誕生し、詩や思想、絵画に多大な影響を及ぼした芸術運動は、当時の日本の画家たちを魅了しました。一九二〇年代後半からシュルレアリスムを先駆的に試みたのは古賀春江や東郷青児、福沢一郎をはじめとする人々でした。一九三〇年代には若い画家や画学生たちがエルンストやダリの作品の影響を受け、表現の幅を広げます。さらに露光、北脇昇らによる日本のシュルレアリスムを象徴する作品が描かれました。しかし、戦時中にシュルレアリスムは危険思想として監視の対象となるとともに、戦死する画家も現れ、活動は困難を極めます。それでも戦後、その影響は絶えることなく、山下菊二をはじめとする画家たちは混迷する社会と向き合いながら、日本特有のシュルレアリスムの作品を生み出したのです。東京のみならず日本各地で展開したシュルレアリスム。戦中、戦後の激動の時代、シュルレアリスムという前衛表現によって時代と対峙した画家たちの軌跡を約一二〇点の作品と資料から検証します。

と日本

Surrealism and Japan

1. 東郷青児《超現実派の散歩》1929年、SOMPO美術館 ©Sompo Museum of Art, 2024 2. 露光《眼のある風景》1938年、東京国立近代美術館 3. 山下菊二《新ニッポン物語》1954年、日本画廊 4. 山本俾右《題不詳（伽藍の鳥籠）のヴァリエーション》1940年、名古屋美術館 *前期展示 5. 福沢一郎《他人の恋》1930年、群馬県立近代美術館 6. 三岸好太郎《海と射光》1934年、福岡市美術館 7. 小牧源太郎《民族系譜学》1937年、京都市美術館



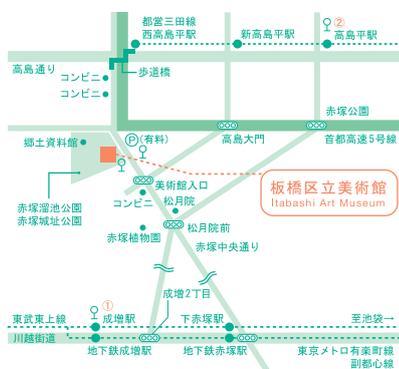
関連イベント ※全て事前申込制

- 3月9日(土) 14:00-15:30 講演会
「シュルレアリスムと日本という場所」
速水 豊 (三重県立美術館長)
- 3月16日(土) 14:00-15:30 ※要参加費
「制作のお話とコラージュのワークショップ」
ユアサ エボシ (画家)
- 3月23日(土) 14:00-15:30 対談
「シュルレアリスムと東京・京都」
伊藤佳之 (福沢一郎記念館)
清水智世 (京都文化博物館学芸員)
- 3月30日(土) 14:00-15:30 講演会
「シュルレアリスムと池袋モンパルナス」
弘中智子 (板橋区立美術館学芸員)
- 4月13日(土) 14:00-15:30 講演会
「越境するシュルレアリスム
—ヨーロッパと日本」
河本真理 (日本女子大学国際文化学部教授)

申し込み方法などの詳細はHP
またはお電話 (03-3979-3251) にて
お問い合わせください。



アクセス



- 徒歩 都営三田線「西高島平駅」下車約14分
- 路線バス (1時間に1-2本程度 所要時間約10分)
- ① 東武東上線「成増駅」北口2番のりば
「増17 区立美術館経由 高島平操車場」行き
「区立美術館」下車
- 東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増駅」も利用可 (5番出口)
- ② 都営三田線「高島平駅」西口2番のりば
「増17 区立美術館経由 成増駅北口」行き
「区立美術館」下車
- タクシー 東武東上線「成増駅」北口
または都営三田線「高島平駅」西口より約5分